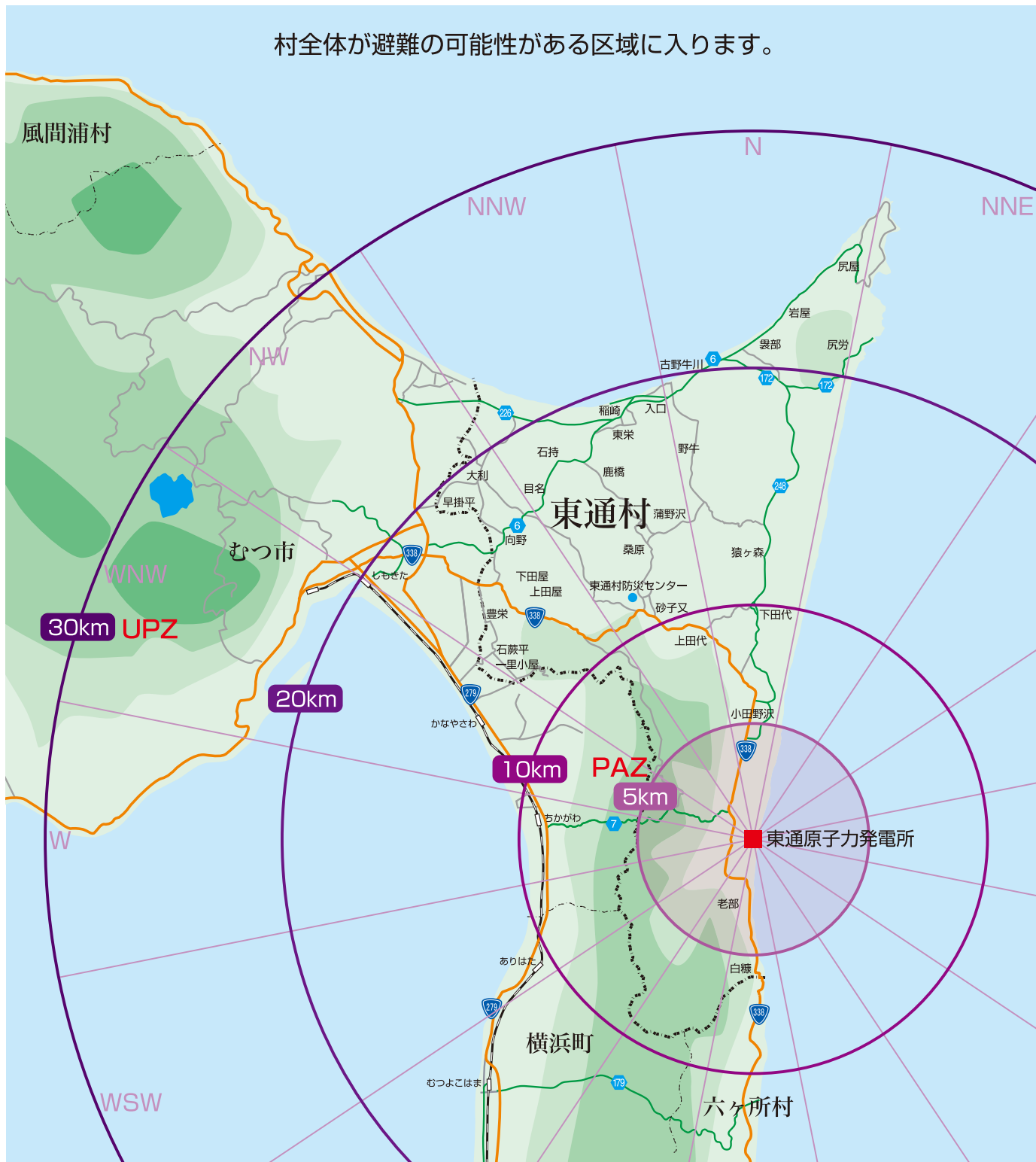


3 避難等の範囲と防護対策は？

1. PAZとUPZの範囲と対象地区

- ・PAZ(Precautinary Action Zone): 発電所から5km圏内……………**小田野沢地区、老部地区、白糠地区**
- ・UPZ(Urgent Protective action planning Zone): 発電所から30km圏内……**上記以外の村内全域地区**

村全体が避難の可能性のある区域に入ります。



2. 通報連絡事象と防護対策一覧

| 通 報 等 | PAZ内の対応 | UPZ内の対応 |
|-------------------------|----------------------------------|------------------|
| 警戒事態 | ・施設敷地緊急事態要避難者の避難準備 | |
| 施設敷地緊急事態 | ・施設敷地緊急事態要避難者の避難 ・その他の住民の避難準備 | ・屋内退避の準備 |
| 全面緊急事態 | ・PAZ内全住民避難実施 | ・屋内退避実施 ・避難準備 |
| OILの値を超え、または超えるおそれがある場合 | | ・区域を検討し避難等の実施 |

〈用語説明〉

●警戒事態

その時点では公衆への放射線による影響やそのおそれが緊急のものではないが、原子力施設における異常事象の発生又はそのおそれがあるため、情報収集や、緊急時モニタリング(放射性物質若しくは放射線の異常な放出又はそのおそれがある場合に実施する環境放射線モニタリングをいう。以下同じ。)の準備、施設敷地緊急事態要避難者の避難等の防護措置の準備を開始する必要がある段階。

●施設敷地緊急事態

原子力施設において公衆に放射線による影響をもたらす可能性のある事象が生じたため、原子力施設周辺において緊急時に備えた避難等の主な防護措置の準備を開始する必要がある段階。

●全面緊急事態

原子力施設において公衆に放射線による影響をもたらす可能性が高い事象が生じたため、確定的影響を回避し、確率的影響のリスクを低減する観点から、迅速な防護措置を実施する必要がある段階。

●PAZ(Precautionary Action Zone)

予防的防護措置を準備する区域。原子力施設から概ね5km圏内。急速に進展する事故においても放射線被ばくによる確定的影響等を回避するため、即時避難を実施する等、放射性物質の環境への放出前から予防的に防護措置を準備する区域。

●UPZ(Urgent Protective action planning Zone)

緊急防護措置を準備する区域。原子力施設から概ね30km圏内。確率的影響を最小限に抑えるため、緊急時に必要な防護措置を準備する区域。

●OIL(Operational Intervention Level)

運用上の介入レベル。UPZ及びUPZ外において、放射性物質が環境へ放出された場合に緊急時の環境放射線モニタリングによる測定結果を照らし合わせ、防護措置の実施を判断する基準。

●施設敷地緊急事態要避難者

PAZ内において、避難の実施に通常以上の時間がかかり、かつ、避難の実施により健康リスクが高まらない要配慮者、安定ヨウ素剤を事前配布されていない者及び安定ヨウ素剤の服用が不適切な者のうち、施設敷地緊急事態において早期の避難等の防護措置の実施が必要な者をいう。

3. 原子力災害対策を重点的に実施すべき区域の範囲

| 村内全域が30km圏内に含まれる | | |
|---------------------|-----------|--|
| 区 域 | 発電所からの距離 | 地 区 |
| 予防的防護措置を準備する区域(PAZ) | 0~5km | 小田野沢・老 部・白 糠 |
| 緊急防護措置を準備する区域(UPZ) | 5km~10km | 上 田 代・下 田 代・砂 子 又・里 |
| | 10km~15km | 猿ヶ森・桑 原・蒲野沢・上田屋 下田屋・石 藤 平・豊 栄・一里小屋 |
| | 15km~20km | 鹿 橋・石 持・向 野・野 牛 目 名・早 掛 平・大 利・東 栄 古野牛川・入 口・稻 崎・袈 部 |
| | 20km~25km | 岩 屋・尻 労・尻 屋 |